



# AKANE NEWS

大塚あかね後援会

羽村市議会議員 **大塚 あかね** 活動報告

No34

平成9年4月25日第3種郵便物認可



2015年夏号  
民主党プレス民主編集部  
〒100-0014  
東京都千代田区永田町 1-11-1  
<http://www.dpj.or.jp>

## 「18歳選挙権」羽村市の取り組みは!?



羽村市議会議員 (3期目)

厚生委員会委員長

▼ プロフィール ▼

学習院大学法学部政治学科卒業

NTT(株)勤務

営業、広報、秘書を務める

2007年

羽村市議会議員初当選

選挙権年齢を「18歳以上」に引き下げる改正公職選挙法が6月17日、参議院議員本会議で成立し、来年夏の参議院議員選挙から適用される見通しとなりました。

最近の選挙では投票率の低迷が続いていて、去年の衆議院議員選挙で52.66%と、戦後最も低くなったほか、ことし4月の統一地方選挙でも、羽村市議会議員選挙の投票率が、45.58%と過去最低となりました。

なかでも、若い世代の投票率の低さが目立っており、総務省が、国政選挙で行っている調査によりますと、20代の投票率は、すべての年代の中で最も低くなっています。

去年の衆議院議員選挙では、20代の投票率は32.58%で、投票したのは3人に1人以下。年代別の投票率が最も高かった60代の88.2%の半分以下でした。

このままでは18歳に選挙権が与えられても、投票率が低いままであることが心配です。

「自分たちの生活全てに政治が関わっている」ということを、若い人に理解してもらうこと、そして、社会に参加する、政治に参加することは自分たちの生きる社会を自分たちで、決定していくという理解してもらうことが大事ではないでしょうか。政治に無関心でも無関係ではいられないのです。(例えば、今年度、羽村市では、婚活イベントが計画されています。少子化対策、街の活性化、といった政治的な狙いがあるのです。こういったイベントも市議会の議決で決まるのです。)

こういった社会参加、政治参加の為の素養を育てる「市民性(市民としての資質)」を養う教育は欧米では当たり前に行われており、日本でも、小中一貫教育を行っている品川区などでは取り組みが始まっています。羽村市でも、子ども達に小中一貫教育で行われている人間学(キャリア学)を活用し、子ども達に市民の一人として、社会に積極的に参画していく資質と能力を養う取り組みを更に行っていく必要があるのではないのでしょうか。



## 6月議会一般質問 ダイジェスト

改選後、初めての一般質問。選挙前、そして選挙中に皆さまにお訴えてきたこと、また、選挙を通じて皆さまからいただいた「声」を中心に、3項目の一般質問を行いました。

1. 羽村市の「地域ケア会議」はどの様に行われるのか
2. 子育て世代包括支援センターについて
3. 子ども達に関する二つの課題について

### 1. 羽村市の「地域ケア会議」はどの様に行われるのか

高齢者の個別の課題、地域の課題を検討し、支援に結びつける「地域ケア会議」。その出発点である、「個別ケア会議」が今年度から始まります。

**大塚** 年に何回開催予定ですか。

**市長** 羽村市地域包括支援センターで原則月1回、地域の包括支援センターでは随時開催予定です。



6月17日  
高齢者対象の  
ほほえみ食事会  
に出席

**大塚** 会議で取り上げる課題はどの様に選んでいくのですか？

**市長** 介護サービスを利用している方への支援が自立支援に結びつかない事例やいろいろな職種での検討が必要な事例などから選んで会議で検討していきます。

**大塚** 参加者はどの様に決めていくのでしょうか？

**市長** 本人、家族、介護保険サービス事業者等、会議で取り上げる課題の関係者に加え民生児童委員、医師、社会福祉士等を選任していく予定です。

**大塚** 地域包括支援センターの増設を本格的に検討するべきではないでしょうか。

**市長** 当面は現在の2か所体制で運用し、被保険者の推移により、3か所体制の整備を検討していきます。

### 2. 子育て世代包括支援センターについて

現在、縦割りで行われている「子育て支援」を一つのチームとして行っていく子育て世代包括支援センターの設置の検討が始まりました。

妊娠から出産、子育て期にわたる切れ目のない支援をワンストップで行うことを目的としています。



**大塚** どの様なメンバーで検討を行っているのでしょうか。市民の参画はあるのでしょうか。

**市長** 市役所の福祉健康部、子ども家庭部の職員で構成する検討委員会を設置し検討を行っていくこととしています。

**大塚** 市民の参加、また、医師や幼稚園や保育園等、子育ての現場にいらっしゃる方の参加や意見を述べる機会が必要ではないでしょうか。

**担当部長** 検討委員の中には、子育て現場にいた職員、臨床心理士、保健師もいます。また市民の方からは、様々な事業を通じてご意見などが寄せられているので、参考にしていきます。

**大塚** 現在は行われていない「産後ケア事業」についても検討が必要だと思いますが。

**市長** 医療機関等産後ケアを行える施設や助産師などの人材確保等に課題があるので、研究していきたいと考えています。

### 3. 子ども達をめぐる2つの課題について

#### (1) 「18歳投票」に備えた有権者教育について

**大塚** 人間学(キャリア学)の中で、子ども達は「市民性(資質)」をどの様に学んでいるとお考えですか？

**教育長** 義務教育9年間を通じ、「将来の為に今何ができるかを考えること」「主体的に判断して生きていく力」等、育てることに取り組んでおり、社会に参画する意味や役割を学んでいます。

**大塚** 現在、市内中学校では生徒会会長選挙は行われています。主権者であること、また選挙の重要さ、意義を理解するためにも東京都選挙管理委員会が実施している「選挙出前授業」「模擬選挙」を実施してみたいかがでしょうか。

**教育長** 東京都選挙管理委員会が18歳選挙権を見据え「TOKYO 選挙・実感プログラム」を実施するので、各校へ周知し、実施に向けて調整していきます。

#### (2) 性同一性障害に係る児童・生徒へのきめ細やかな対応について

4月30日、文部科学省は全国の教育委員会に対し、「性同一性障害にかかる児童・生徒へのきめ細やかな対応について」という通知を出しました。

性同一性障害に関する通知を文部科学省が出すのは平成22年、昨年、そして今回と3回目です。今回の通知は具体的な「対応例」が示されています。

**大塚** 教育委員会は学校に対し、どの様な支援を行っていくのですか？

**教育長** 今回の通知内容を校長会で説明し、理解や対応への配慮事項について共通理解を図りました。東京都教育委員会と連携し、教職員への研修などを実施していきます。保護者、生徒・児童に対しても「人権教育」としていじめや差別を許さない生活指導、人権教育等を行っていきます。

**大塚** 文部科学省からは性同一性障害、「性的マイノリティ」とされる児童・生徒に対しての相談体制の充実も求められていますが、どの様に充実させていくのでしょうか。

**教育長** 教育相談の活用、また医療機関とも連携するなど、児童・生徒の心情に十分、配慮した対応ができるようにしていきます。

\*性的マイノリティ・・・一般的に何らかの意味で「性」のあり方が非典型的な人のこと。同性愛者、両性愛者、トランスジェンダー(性同一性障害の当事者含む)を示す言葉

## ご報告

皆さまからの多大なるご支援をいただき、3期目の仕事をさせていただきます。

1095票という票の重さ、そして、皆さまからのご期待に沿えるよう、それ以上の仕事をさせていただく為に全力を尽くして参ります。

さて、今期は再び、**厚生委員会委員長を拝命**いたしました。子育て支援、高齢者施策、環境問題など、しっかりと取り組んで参りますので、皆さまからのお声をお待ちしております。

これからも、大塚あかねへの、ご支援、ご指導、ご鞭撻を宜しくお願いいたします。

## ご存知ですか？

「退職金が出たのでしょうか？」という声をうかがいますが、議員には、**退職金はありません。議員年金も廃止され、年金支給はないのです。更に、議員はローンを組むことができません。**

銀行から融資を受けたくても、ローンを組みたくても、組めない！  
(これはお子さん育てている方にとっては大変なことだと思います。教育ローンが組めないのですから。) 4年に1度、選挙があるので、(当選するか、落選するかわからない)、金融機関としてみれば「返済保証がない人」ということなのですね。

毎月の歳費は議員活動にほとんど使ってしまいますので、議員の生活実態は相当に苦しいものであることをご理解いただきたいと思います。

若者の政治参加を促していくためにも、議員の「身分保障」について、考えていかねばならない・・・とふと思います。

## 活動の記録



5月17日  
「はむら健康の日」視察



5月17日  
「大多摩日経グルメ」  
に参加



6月6日  
環境フェスティバルで  
セグウェイに試乗



6月16日  
連合西多摩の皆さまと  
連合の政策を訴えました

## 大塚あかね後援会 会員募集中です！！

皆様からのご支援（カンパ）をお願いしております。  
大塚あかねの政治活動全般に活用させていただきます。  
ご意見、ご要望も下記までご連絡くださいませ。

### 連絡先

〒205-0015 羽村市羽中2-15-12

TEL 042-555-5338

FAX 042-555-5338

<http://www.otsuka-akane.net> E-mail : [a.k.o@t-net.ne.jp](mailto:a.k.o@t-net.ne.jp) ブログ毎日更新中！

★お知り合いのご紹介お願いいたします。